

平成19年度

第5回

(地域別研修)

南米地域 都市計画・土地区画整理事業
実施要領

平成19年9月

独立行政法人国際協力機構 (JICA)

Japan International Cooperation Agency

目 次

1. コース基本情報	1
2. コース目的	1
3. 到達目標	2
4. 研修プログラム	3
5. 研修員参加資格要件	4
6. 研修実施体制及び運営	5
7. 研修の評価	6
8. 研修付帯プログラム	6
9. 研修・宿泊場所	7
10. その他	8

付 属 資 料

付表ー1 研修員の業務関連情報

付表ー2 研修カリキュラム

付表ー3 平成19年度日程表(案)

付表ー4 年度別受入実績表

1. コース基本情報

(1) コース名

和文：(地域別) 南米地域 都市計画・土地区画整理事業

英文：Area Focused Training in Urban Planning and Land Readjustment Project for South American Countries

(2) 受入期間

i 本邦研修

平成 19 年 9 月 30 日 (日) ~平成 19 年 12 月 15 日 (土)

ii 事前研修 (コロンビア ボゴタで実施)

平成 19 年 9 月 21 日 (金) ~平成 19 年 9 月 26 日 (水)

(3) 技術研修期間

平成 19 年 10 月 9 日 (火) ~平成 19 年 12 月 14 日 (金)

(4) 定員、割当国

定 員：12 名 受 入：14 名

割当国：コロンビア、ボリビア、ペルー、エクアドル、ベネズエラ (下線は受入国)

2. コース目的

コロンビアでは 1992 年の国土開発法に基づき都市施設整備を推進し、各都市の都市計画において土地区画整理事業手法の導入を検討することが定められているが、同国にはこれまで土地区画整理に基づく事業実例が殆どなく、また、土地区画整理事業に精通した人材が不足している状況にあった。

かかる状況の改善のため、JICA は 1998 年から 2002 年まで、同事業に関わる人材の育成並びに総合的なまちづくりの推進に資することを目的として、同国の担当者に事業の基本概念並びに問題解決方法等に関する国別特設研修「土地区画整理事業」を実施した。同研修を通して区画整理に従事する行政官を育成すると共に、帰国研修員によるセミナーの開催等による研修成果の面的拡大と知識の蓄積、体系化が進行している。国別特設研修の帰国研修員は約 40 名存在しており、そのうち、核になる帰国研修員が帯広の土地

区画整理事業に関する知見をもち、自国の法制度の中でどのように活用していくかが実るものの、全国的な取組みは今後の課題となっており、本格的な事業の実施のためには、都市問題解決のための総合的な視点を併せもち、かつ更なる技術レベルの向上も必要である。

一方、南米地域では急速な都市化の進行により、(1)大都市と地方の地域間格差の拡大、(2)都市整備の二重構造の存在(富裕層地区と貧困地区)、(3)都市問題への総合対策の欠如、(4)都市計画分野の人材不足、といった共通した問題があり、今後、中南米地域における都市問題解決の有効な対策として、コロンビアで拡大しつつある前述した帰国研修員による研修成果を、国境を越えて波及させることが効果的であることから、南米5カ国を対象とした研修を実施することとした。

JICAでは「土地区画整理事業」研修を通して、都市計画、区画整理に従事する行政官を育成するとともに、帰国研修員によるセミナーの開催等による研修成果の面的拡大と、知識の蓄積、体系化が進行中である。一方、本格的な事業を実施するために、包括的都市構想、計画に基づく都市問題への総合的な視点を兼ね備えた人材の育成が急務となっている。

以上のことから、都市計画の考え方を総合的に理解し、特に土地区画整理事業の手法を習得することにより、自国での都市問題に対し適切な政策立案を可能とする人材の育成を目的として「都市計画・土地区画整理事業」を実施する。

なお、本邦での研修をより効果的に実施することを目的として、各国の研修員に対し、既に「土地区画整理事業」で研修を受けた帰国研修員によるブリーフィングをコロンビアで実施した上で来日させ、より効果的な研修とする。

3. 到達目標

- (1) 日本の都市計画の考え方を総合的に理解し、都市計画の枠組み、行財政制度、都市環境(再開発事業、リスクマネジメントを含む)、都市交通等を総合的に理解し、包括的に都市機能全体を計画、策定できる。
- (2) 日本の土地区画整理事業の概要(調査・事業計画、換地設計・土地評価、資金計画、法律等)を理解し、事業計画の作成、換地設計の技術を習得する。

4. 研修プログラム

(1) 研修内容

本研修は研修日程表記載のとおり、講義、ディスカッション、演習、視察等により実施する。

ア. 研修カリキュラム（付表-2 参照）

イ. ジョブレポート発表会（Job Report Presentation）

(7) 目的

- a. 研修員自身が問題点を再認識する
- b. 研修員相互間で問題意識を共有する
- c. 講師が研修員の業務内容、研修で習得したい技術・知識を理解する

これらの発表を通じ、講師から個々の研修員の期待に対してこの研修でできることできないことを明確に示す意見交換の場とする。

(4) 発表内容

J/R 発表会において、各研修員は以下の3点について主に発表する

- a. 自国でどのような仕事に従事しているのか
- b. その仕事において現在どのような問題を抱えているか
- c. この研修の中で習得したい技術、知識

ウ. 講義、視察、実習

- (7) 講義は各テーマに則したテキストを用意、視聴覚機材を導入し研修員の理解度を深める工夫をする。
- (4) 都市施設の整備効果及び事業現場を視察、見学することにより、総合的な理解をより深める。
- (7) 実習では実際の事例の基づき、計画地区を設定し、様々な状況を考慮し計画の実習を行い、講義や見学で理解したものを図面に表し、講義の内容を再確認する。

エ. アクションプラン発表会（Action Plan Presentation）

(7) 目的

- a. 研修員が帰国後に取り組むべき課題を明確にする

- b. 可能な計画の立案能力向上
- c. 研修結果の資料として利用する

(イ) 発表内容

J/R で提言した問題点、また、研修中に新たに想定された問題点の解決のためのプロジェクトの計画を策定し、その目標達成のための活動計画（アクションプラン）を発表する（A/P の必要記載事項として、プロジェクトタイトル、解決すべき問題とそれに対するプロジェクト目標、期間、場所、事業主体、活動内容など、についての記述を求める）。

(2) 使用言語 西語

5. 研修員参加資格要件

当該コースに関わる General Information 記載条件

- (1) 中央政府レベル及び地方自治体等の都市開発に関する公的機関で都市計画・土地
区画整理事業に従事している行政官で5年以上の経験を有する者
- (2) 大学卒あるいは同程度の学力を有する者
- (3) 年齢45歳までであること

各コース資格要件

- (1) 所定の手続により割当国政府から推薦されていること
- (2) 身体的、肉体的に健康なこと
- (3) 軍隊に服役していないこと

6. 研修実施体制及び運営

本研修コースは、コースリーダーの助言のもと、独立行政法人国際協力機構帯広国際センター（以下、JICA 帯広）が計画する研修コースの実施に関する業務を、社団法人北方圏センター（以下、NRC）に委託し、関係諸機関の協力により実施・運営するものとし、具体的業務分担は次のとおりとする。

(1) JICA 帯広

- ア. 研修実施計画書作成（コース目的、到達目標、研修期間など）
- イ. 研修の評価
- ウ. 研修実施予算の執行管理
- エ. 募集要項（G. I.）及び研修実施要領等の作成
- オ. その他

(2) NRC

- ア. 研修日程表の調整・作成
- イ. 講師、見学先等への連絡・確認
- ウ. テキスト、資料等の手配
- エ. その他

(3) コースリーダー

研修の計画、実施、評価の全般にわたる技術的助言等

(4) 研修監理員（Coordinator : CDN）

技術研修期間中、(財)日本国際協力センター（JICE）所属の研修監理員（CDN）を配置し、コース実施・運営の円滑・調整を図る。

- ア. 研修に係る関係者間の連絡調整
- イ. 通訳業務
- ウ. その他

7. 研修の評価

(1) 評価の目的

研修コースの到達目標（2頁参照）に基づき、研修成果の測定、分析を通じてコース終了時に、当初目標の達成度を確認する。また、今後の研修で改善すべき点をあげ、本コースの研修内容の質的改善を図るものとする。

(2) 評価の方法

- ア. コースリーダー等による個々の研修員の到達目標の達成度把握
- イ. 個々の研修員による評価（Questionnaire）
- ウ. JICAによる評価

(3) 評価会

研修終了時に研修員が提出する Questionnaire（JICA 所定の様式による質問書）の記載事項の確認を中心とした評価会を実施する。

(4) 改善検討会

研修員の帰国後に、評価結果に基づき JICA、コースリーダー、講師、NRC 等が参加し、研修の目的・内容、プログラム構成、指導方法等について協議し、翌年度のコース改善に向けて対応方針を検討する。

8. 研修付帯プログラム

(1) ブリーフィング

研修員来日直後に、JICA 帯広国際センターにおいて実施する。ブリーフィングでは、JICA の業務概要説明及びコース概要、研修員登録、パスポート・ビザの有効期間確認、支給される諸手当の説明等のほか、日常生活を送る上での諸注意を行う。

(2) ジェネラルオリエンテーション

JICA 帯広にて実施し、日本の社会・歴史・文化・政治・経済・教育などの日本事情の紹介を目的とする。

(3) 日本語講習

研修員は、研修のみならず国際交流事業に役立てるよう、簡単な日常会話程度の語学力修得を目的として10時間の日本語講習を実施する

ブリーフィング・ジェネラルオリエンテーション・日本語講習日程

日 程	内 容
10月1日(月)	ブリーフィング
10月2日(火) 午前	ジェネラルオリエンテーション 講義「日本の社会と日本人」
10月3日(水) 午前 午後	ジェネラルオリエンテーション 講義「日本の政治、行政」「日本の経済」 講義「日本の教育」「日本の歴史・文化」
10月4日(木)	日本語講習
10月5日(金)	日本語講習

9. 研修・宿泊場所

独立行政法人国際協力機構帯広国際センター（JICA 帯広）

所在地：〒080-2470 北海道帯広市西20条南6丁目1番地2

Tel (0155) 35-2001 Fax (0155)35-2213

10. その他

(1) 修了証書

この研修を修了した研修員に JICA から修了証書 (Certificate) を授与する。

(2) 研修員の待遇

ア. 入国資格

日本で技術研修を受けるために来日する者は研修ビザを取得し、日本滞在中は日本国法規の適用を受ける。

イ. 滞在費

JICA の規程に基づき、本コースの研修を受けるために必要な手当が支給される。

(3) 開発教育支援

「開発教育」とは、開発途上国の文化、社会、人々の暮らし、日本との関係などを知ることによって開発途上国に関心を持ち、「貧困問題」や「環境問題」など地球全体の構造的な問題を自分の問題としてとらえ、解決のために自ら行動することが必要であるという認識を広めることを目的として小・中学校の教育現場で実施されている。JICA はこの「開発教育」の支援に力を入れており、本研修コースの中に、地域の小・中学校や地域住民との相互理解のためのプログラムが含まれている。



独立行政法人国際協力機構 帯広国際センター
〒080-2470 帯広市西20条南6丁目1番地2
TEL : 0155-35-1210 FAX : 0155-35-1250
URL : <http://www.jica.go.jp/worldmap/hokkaidou.html#obihiro>

平成19年度（地域別）都市計画・土地区画整理事業コースカリキュラム

単位：日

項目	科目	講義	演習	視察	討論	担当講師	講義目的	講義内容
到達目標1：都市計画の枠組み、行政制度、都市環境、都市交通等を総合的に理解し、包括的な都市機能全体の計画能力を習得する								
I. 都市計画総論	日本における社会経済発展と都市計画	0.5				前JICA専門家 木下洋司氏	日本の都市計画・区画整理が広く社会経済システム（国土計画等各種計画、地方分権等）の中でどう位置づけられているかを理解する。	日本、全国総合開発計画、経済発展とインフラ整備の歴史、国土利用計画、経済計画等との関係、都市計画における国と地方の役割分担
	南米における区画整理・都市計画の役割	0.5					日本の区画整理、都市計画の考え方が南米においてどのように生かせるかその方向性のイメージ作りを行う	南米における都市問題の現状、都市開発の歴史、国家開発計画との関連性、土地区画整理手法導入の問題点、課題、アジア諸国の動き
	日本の都市再開発と土地区画整理	1.0				国土交通省 市街地整備課 仲谷俊昭企画係長	日本における都市開発事業と土地区画整理事業について理解する	我が国の都市計画制度、土地区画整理事業の概要
	流域の計画整備：流域圏計画管理、WF	0.5		0.5		北海道大学 黒木幹男准教授	治水、利水および環境について理解する	世界の動向及び日本の流域管理
	環境アセスメントと地域環境管理	0.5		0.5		北海道大学 加賀屋謙一教授	我が国のアセスメント、環境管理システムを理解する	環境アセスメントと地域環境管理
	総合交通計画	0.5		0.5		室蘭工業大学 田村亨教授	都市及び都市圏の総合交通の体系化と計画策定システムを理解する	総合交通計画の総論及び事例編
	総合交通体系調査について	1.0				帯広市都市計画課 福島孝洋係長	日本における総合交通体系調査の実施方法について学ぶ	帯広圏の総合交通体系調査の実施方法を学び、将来の公共交通計画の作業方法について情報交換する
	広域都市圏と都市再生の政策	0.5		0.5			広域都市圏と都市再生の政策	都市再生、都市基盤と建設プロジェクト、行政側手続きなど
	21世紀の都市計画論：ニューアーバニズム	1.0				北海道大学 小林英嗣教授	21世紀の都市計画論：ニューアーバニズム	日本や各国の都市再生事例など
	リスクマネージメント	1.0				京都大学 岡田進夫教授	都市の危機管理のあり方について理解する	災害と住居の関係、リスクマネージメントとはなにか
	都市再生機構の計画事例（東京湾岸の事例）	0.2				都市再生機構 大島 淳氏	都市再生機構の組織及び事業概要を理解する	事業概要説明
	都市開発の実施事例			1.0		三菱地所 日建設計	都心での民間活用による都市開発について事例を通して学ぶ	事業概要説明
	東京湾岸事例、都心視察			0.5		前JICA専門家 木下洋司氏	都心での民間活用による都市開発について事例を通して学ぶ	事業概要説明
	II. 都市計画各論	供給処理施設（上下水道施設計画）	0.5		0.5	北海道大学 船水尚行教授	都市水施設の流域水管理における役割と施設計画の考え方を理解する	水環境、物質循環に与える影響を議論
公園緑地計画		0.5			北海道大学 浅川昭一郎 名譽教授	国土と都市の基盤として公園、緑地政策および計画論の歴史的展開とこれからの方向性を理解する	公園緑地の機能、公園緑地制度の歴史、システム、今後の課題	
これからの社会基盤の緑地				0.5				
一般廃棄物概要		0.5		0.5	北海道大学 松藤敏彦教授	日本の廃棄物処理の現状と今後を理解する	廃棄物処理の歴史、焼却、埋立技術	
III. 地域都市の計画	都市計画（全般・帯広市のまちづくり）	0.5				帯広市都市計画課 中村忠範課長補佐	帯広市の都市計画を理解する	・帯広市の都市計画の経過、特徴などについて総合的に学ぶ ・都市計画決定のながれについて
	都市計画（土地利用・帯広市のまちづくり）	0.5				帯広市都市計画課 佐藤俊俊主任	都市計画を活用した都市づくりについて学ぶ	土地利用などまちづくりにおける必要な都市計画ツールの役割と活用方法について
	都市計画（都市施設・帯広市のまちづくり）	0.5				帯広市都市計画課 中村勝利主任補	帯広市の主要な都市施設整備の経緯を理解する	鉄道高架など主要な都市施設整備の補助事業のシステムや予算配分など帯広市のケースの中での日本の都市施設整備
	都市再開発計画事業（帯広）	1.0				帯広市 商業まちづくり課 木川博史課長補佐	将来のまちづくりを豊かにするための都市再開発の事例を通して理解する	・帯広市における再開発事業の仕組み ・2条8丁目通り地区の事例紹介
	ワークショップ：モニタリングによる街づくり（コロンビア、ウスマ地区の地形を利用したまちづくり）	1.0	3.0			高野フミオ 代表取締役 象設計集団 町山一郎 代表取締役	①ウスマ地区・パティオポニート地区の問題点について討論をとおして問題点を分析・整理発表する。 ②パティオポニート地区の再開発計画の提案/コンセプトの設定/計画イメージ図の作成/事業手法の考察	
	都市再開発計画・事業（札幌）住宅系の区画整理および再開発（琴似など）	0.5		0.5		札幌市 市街地整備部 再開発課	都市交通を拠点とした再開発事業について理解する	札幌市の概況、再開発事業について
	都市再生計画 都心の再開発：札幌ファクトリー、札幌駅南口	0.5		0.5		札幌市 市民まちづくり局 都心まちづくり推進室	全国及び地方における都市再生計画の実体について理解する	都心再生計画について
	まちづくりワークショップ（住民参加型の区画整理手法）		1.5			ズコーシャ 得能裕明主任技師	区画整理事業の計画過程と合意形成の問題点についての理解促進	公共事業における合意形成の現状、交渉の特徴、解決プロセスなど
到達目標2：日本の土地区画整理事業の概要を理解し、事業計画の作成、換地設計の作成能力を習得する								
IV. 土地区画整理事業①	土地区画整理事業のプロセス	5.0	0.5			帯広市宅地開発課 田中博美主査	・日本における土地区画整理の発展の背景と最新手法の事例紹介 ・区画整理の実践的なポイントを講義をとおして理解する	・土地区画整理事業概要・土地区画整理事業の歴史と実績・事業計画・土地評価・換地計画・区画整理の新しい手法
	神戸市の土地区画整理事業	0.5	0.5			神戸市都市計画局 区画整理課	神戸市の震災復興土地区画整理事業の概要を理解する	復興まちづくりの経緯説明など
	神戸市の市街地再開発事業	0.5	0.5			神戸市都市計画局 再開発課	神戸市の震災復興市街地再開発事業の概要を理解する	復興まちづくりの経緯説明など
	土地区画整理手法の他国への導入	1.0				帯広市議会議員 編田照茂	土地区画整理事業における海外と日本での取組の違いを理解し、どのように適用していくか検討する	ネパールの事例・経験を通じて、日本の区画整理事業の導入方法について、その手法を研修員とともに探る
	土地区画整理手法の南米地域への導入問題点		0.5			小林教授、木下氏、都市計画課、宅地開発、高野、フミオ、ズコーシャ、シン	日本の区画整理、都市計画の考え方が、南米においてどのように生かされていくべきかについて、その方向性のイメージ作りを行う。	各講師と研修員が討論を通じて、実践する上での問題点・解決策のための意見交換
V. 土地区画整理事業②	駅周辺整理前現況図を用いた事業計画実務演習		4.0			帯広市宅地開発課 秋田主任補 シン技術コンサル 中山課長 工藤主任技師	事業費の算定等を通して区画整理地形の流れ、仕組みを実感する	地形実施に必要な支出計算、基本事業費の算定、
	事例に基づいた実務演習（換地設計）		5.0			帯広市下水道施設課 柴田博之課長補佐 宅地開発課 納村勝彦課長補佐	換地設計	テキストを用いた路線価計算
その他：								
VI. その他	コースオリエンテーション				0.5	小林英嗣教授		
	研修プログラムガイダンス					木下氏、JICA		
	ジョブレポート発表会				0.5	関係講師		
	アクションプランテーマ討論				2.5	関係講師		
	学校訪問			1.0				
	アクションプラン発表会				0.5	関係講師		

平成19年度（地域別）南米地域 都市計画・土地区画整理事業コース 日程表（案）

付表-3

到達目標	日付	曜日	時間	形態	項目	場所	担当
	9月30日	日			来日		
	10月1日	月			ブリーフィング、オリエンテーション	帯広国際センター	NRC
	10月2日	火			ブリーフィング、オリエンテーション	帯広国際センター	NRC
	10月3日	水			オリエンテーション	帯広国際センター	NRC
	10月4日	木			日本語講習	帯広国際センター	NRC
	10月5日	金			日本語講習	帯広国際センター	NRC
	10月6日	土			休日		
	10月7日	日			休日		
	10月8日	月			祝日		
			9:00～9:30		市長表敬	市役所	JICA
Ⅵ)その他	10月9日	火	10:30～11:30		研修プログラムガイダンス	帯広国際センターセミナー4	木下洋司氏、JICA木村職員
			11:30～12:30		コースオリエンテーション	帯広国際センターセミナー4	小林英嗣教授 北海道大学
			14:00～17:00		ジョブレポート発表会	帯広国際センターオリエンテーション	小林英嗣教授、関係講師
Ⅰ)都市計画総論	10月10日	水	10:00～12:00 13:30～16:30	講義	日本における社会経済発展と都市計画 南米における区画整理・都市計画の役割	帯広国際センターセミナー4	木下洋司氏 (前)JICA長期専門家 (元)国土交通省総合政策局企画専門官
Ⅰ)都市計画総論	10月11日	木	10:00～12:00 13:30～16:30	講義	日本の都市再開発と土地区画整理	帯広国際センターセミナー4	仲谷俊昭企画係長 国土交通省市街地整備課
Ⅰ)都市計画総論	10月12日	金	10:00～12:00 13:30～16:30	講義	総合交通体系調査について	帯広国際センターセミナー4	福島孝洋係長 帯広市都市計画課
	10月13日	土			休日		
	10月14日	日			休日		
Ⅰ)都市計画総論	10月15日	月	10:00～12:00 13:30～16:30	講義	総合交通計画	帯広国際センターセミナー4	田村亨教授 室蘭工業大学
Ⅲ)地域都市の計画	10月16日	火	10:00～12:00	講義	都市計画(全般…帯広市のまちづくり)	帯広国際センターセミナー4	中村忠範課長補佐 帯広市都市計画課
			13:30～16:30	講義	都市計画(土地利用…帯広市のまちづくり)		佐藤優俊主任 帯広市都市計画課
	10月17日	水	10:00～16:30	演習	まちづくりワークショップ(住民参加型の区画整理手法)	帯広国際センターセミナー4	得能裕明主任技師 ズコーシャ
	10月18日	木	10:00～12:00	演習	まちづくりワークショップ(住民参加型の区画整理手法)	帯広国際センターセミナー4	得能裕明主任技師 ズコーシャ
			14:00～16:00	講義	都市計画(都市施設…帯広市のまちづくり)	帯広国際センターセミナー4	中村勝利主任補 帯広市都市計画課
	10月19日	金	10:00～12:00 13:30～16:30	講義	ワークショップ:モニタリングによる街づくり(コロンビア、ウスマ地区の地形を利用したまちづくり)	帯広国際センターセミナー4	金清典広代表取締役 町山一郎代表取締役 高野ランドスケープ 象設計集団
	10月20日	土			休日		
	10月21日	日			休日		
Ⅲ)地域都市の計画	10月22日	月	10:00～12:00 13:30～16:30	講義	都市再開発計画・事業(帯広)	帯広国際センターセミナー4	木川博史課長補佐 帯広市商業まちづくり課
Ⅲ)地域都市の計画	10月23日	火	10:00～12:00 13:30～16:30	演習	ワークショップ:モニタリングによる街づくり(コロンビア、ウスマ地区の地形を利用したまちづくり)	帯広国際センターセミナー4	金清典広代表取締役 町山一郎代表取締役 高野ランドスケープ 象設計集団
	10月24日	水	10:00～12:00 13:30～16:30	演習	ワークショップ:モニタリングによる街づくり(コロンビア、ウスマ地区の地形を利用したまちづくり)	帯広国際センターセミナー4	金清典広代表取締役 町山一郎代表取締役 高野ランドスケープ 象設計集団
	10月25日	木	10:00～12:00 13:30～16:30	演習	ワークショップ:モニタリングによる街づくり(コロンビア、ウスマ地区の地形を利用したまちづくり)	帯広国際センターセミナー4	金清典広代表取締役 町山一郎代表取締役 高野ランドスケープ 象設計集団

Ⅱ) 都市計画各論	10月26日	金	移動 13:30～18:30	移動(帯広→札幌) 公園緑地計画 これからの社会基盤の緑地	モエレ沼公園	浅川昭一郎名誉教授	北海道大学
	10月27日	土		休日			
	10月28日	日		休日			
Ⅲ) 地域都市の計画	10月29日	月	10:00～12:00 13:00～16:00	講義 視察 都心再開発計画・事業(札幌) 住宅系の区画整理および再開発(琴似など)	札幌市役所	市街地整備部 再開発課	札幌市役所
Ⅱ) 都市計画各論	10月30日	火	10:00～12:00 13:00～16:00	講義 一般廃棄物概要	北海道大学	松藤敏彦教授	北海道大学
Ⅲ) 地域都市の計画	10月31日	水	10:00～12:00 13:00～16:00	講義 視察 都市再生計画 都心の再開発:札幌ファクトリー、札幌駅南口	札幌市役所	市民まちづくり局 都心まちづくり推進室	札幌市役所
Ⅰ) 都市計画総論	11月1日	木	10:00～12:00 13:00～16:00	講義 討論 広域都市圏と都市再生の政策	北海道大学	小林英嗣教授	北海道大学
	11月2日	金	10:00～12:00 13:00～16:00	講義 21世紀の都市計画論ニューアーバニズム	北海道大学	小林英嗣教授	北海道大学
				移動 移動(札幌→帯広)			
	11月3日	土		休日			
	11月4日	日		休日			
Ⅵ) その他	11月5日	月	9:00～12:00	討議 アクションプラン討論会Ⅰ	帯広国際センターセミナー4	木下洋司氏	(前)JICA長期専門家 (元)国土交通省総合政策局企画専門官
			13:30～16:30	講義 土地区画整理事業のプロセス(区画整理の概要)	帯広国際センターセミナー4	田中博美主査	帯広市宅地開発課
Ⅳ) 土地区画整理事業①	11月6日	火	10:00～12:00 13:30～16:30	講義 土地区画整理事業のプロセス(仕組み、事業計画)	帯広国際センターセミナー4	田中博美主査	帯広市宅地開発課
	11月7日	水	10:00～12:00 13:30～16:30	講義 土地区画整理事業のプロセス(土地評価)	帯広国際センターセミナー4	田中博美主査	帯広市宅地開発課
	11月8日	木	10:00～12:00 13:30～16:30	講義 土地区画整理事業のプロセス(換地設計)	帯広国際センターセミナー4	田中博美主査	帯広市宅地開発課
	11月9日	金	10:00～12:00 13:30～16:30	講義 土地区画整理事業のプロセス(活用手法)	帯広国際センターセミナー4	田中博美主査	帯広市宅地開発課
	11月10日	土		休日			
11月11日	日		休日				
Ⅳ) 土地区画整理事業①	11月12日	月	10:00～12:00 13:30～16:30	講義 視察 土地区画整理事業のプロセス(PM現地視察)	帯広国際センターセミナー4	田中博美主査	帯広市宅地開発課
Ⅴ) 土地区画整理事業②	11月13日	火	10:00～12:00 13:30～16:30	演習 駅周辺整理前現況図を用いた 事業計画実務演習(ワークショップ)	帯広国際センターセミナー4	秋田剛志主任補 中山祐二課長、工藤勝裕主任技師	帯広市宅地開発課 シン技術コンサル
	11月14日	水	10:00～12:00 13:30～16:30	演習 駅周辺整理前現況図を用いた 事業計画実務演習(ワークショップ)	帯広国際センターセミナー4	秋田剛志主任補 中山祐二課長、工藤勝裕主任技師	帯広市宅地開発課 シン技術コンサル
Ⅴ) 土地区画整理事業②	11月15日	木	10:00～12:00 13:30～16:30	演習 事例に基づいた実務演習 (換地設計)	帯広国際センターセミナー4	柴田博之課長補佐 納村勝彦課長補佐	帯広市下水道課 帯広市宅地開発課
	11月16日	金	10:00～12:00 13:30～16:30	演習 事例に基づいた実務演習 (換地設計)	帯広国際センターセミナー4	柴田博之課長補佐 納村勝彦課長補佐	帯広市下水道課 帯広市宅地開発課
11月17日	土		休日				
11月18日	日		休日				
Ⅴ) 土地区画整理事業②	11月19日	月	10:00～12:00 13:30～16:30	演習 事例に基づいた実務演習 (換地設計)	帯広国際センターセミナー4	柴田博之課長補佐 納村勝彦課長補佐	帯広市下水道課 帯広市宅地開発課
	11月20日	火	10:00～12:00 13:30～16:30	演習 事例に基づいた実務演習 (換地設計)	帯広国際センターセミナー4	柴田博之課長補佐 納村勝彦課長補佐	帯広市下水道課 帯広市宅地開発課
	11月21日	水	10:00～12:00 13:30～16:30	演習 事例に基づいた実務演習 (換地計画書作成、清算金)	帯広国際センターセミナー4	柴田博之課長補佐 納村勝彦課長補佐	帯広市下水道課 帯広市宅地開発課
Ⅵ) その他	11月22日	木		学校訪問(帯広市立豊成小学校、 帯広市立帯広第5中学校)			

	11月23日	金			移動(帯広→大阪)			
	11月24日	土			移動(大阪→京都) 視察	京都	木下洋司氏	
	11月25日	日			視察 移動(京都→神戸)	京都	木下洋司氏	
I)都市計画総論	11月26日	月	10:00~12:00	講義	神戸市の土地区画整理事業 (震災復興事業)	神戸市役所	都市計画局 区画整理課	神戸市役所
			13:00~16:00	視察	神戸市の土地区画整理事業地区視察	神戸市内		
IV)土地区画整理事業①	11月27日	火	10:00~12:00	講義	神戸市の土地区画整理事業 (震災復興事業)	神戸市役所	都市計画局 再開発課	神戸市役所
			13:00~16:00	視察	神戸市の土地区画整理事業地区視察	神戸市内		
	11月28日	水	10:00~12:00 13:00~16:00	講義 討論	リスクマネージメント	京都大学	岡田憲夫教授	京都大学
I)都市計画総論	11月29日	木	10:00~12:00	移動	丸の内再開発事業、丸の内ビル視察	東京都内	小泉資興参事	三菱地所株式会社
			14:00~17:00	移動	都心開発プロジェクト、視察	東京都内	新田恵一副代表	株式会社日建設 プロジェクト開発部門
	11月30日	金	10:00~11:00 11:00~17:00	講義 視察	都市再生機構の計画事例 東京湾岸の事例、都内視察	都市再生機構 東京都内	矢島 淳氏 木下洋司氏	(独)都市再生機構 東京 都心支社 業務第2ユ ニット 市街地整備第1 (前)JICA長期専門家 (元)国土交通省総合政 策局企画専門官
	12月1日	土			移動(東京→帯広)			
	12月2日	日			休日			
	12月3日	月			代休			
VI)その他	12月4日	火	10:00~12:00 13:30~16:30	討議	アクションプラン討論会II	帯広国際セン ターセミナー4	木下洋司氏	(前)JICA長期専門家 (元)国土交通省総合政 策局企画専門官
V)土地区画整理事業②	12月5日	水	10:00~12:00 13:30~16:30	演習	駅周辺整理前現況図を用いた 事業計画実務演習(検証・考察)	帯広国際セン ターセミナー4	秋田剛志主任補 中山祐二課長、工藤勝裕主 任技師	帯広市宅地開発課 シン技術コンサル 任技師
	12月6日	木	10:00~12:00 13:30~16:30	演習	駅周辺整理前現況図を用いた 事業計画実務演習(検証・考察)	帯広国際セン ターセミナー4	秋田剛志主任補 中山祐二課長、工藤勝裕主 任技師	帯広市宅地開発課 シン技術コンサル 任技師
II)都市計画各論	12月7日	金	11:00~17:00	講義 討論	供給処理施設(上下水道施設計画)	帯広国際セン ターセミナー4	船水尚行教授	北海道大学
	12月8日	土			休日			
	12月9日	日			休日			
I)都市計画総論	12月10日	月	10:00~12:00 13:30~16:30	講義 討論	流域の計画整備:流域圏計画管理、WF	帯広国際セン ターセミナー4	黒木幹男准教授	北海道大学
I)都市計画総論	12月11日	火	10:00~12:00 13:30~16:30	講義 討論	環境アセスメントと地域環境管理	帯広国際セン ターセミナー4	加賀屋誠一教授	北海道大学
II)都市計画各論	12月12日	水	10:00~12:00 13:30~16:30	講義	土地区画整理手法の他国への導入	帯広国際セン ターセミナー4	編田照茂氏	(元)帯広市農村整備課
VI)その他	12月13日	木	9:00~12:00	討議	アクションプラン討論会III	帯広国際セン ターセミナー4	木下洋司氏	(前)JICA長期専門家 (元)国土交通省総合政 策局企画専門官
IV)土地区画整理事業①			13:00~16:00	討議	土地区画整理手法の南米地域への導入問題	帯広国際センタ オリエンテーショ ン	小林英嗣教授、木下氏、都 市計画課、宅地開発課、 象、高野、ズコーンヤ、シン	JICA
			16:30~18:00	討議	評価会	帯広国際センタ オリエンテーショ ン	小林英嗣教授	JICA
VI)その他	12月14日	金	9:00~12:00		アクションプラン発表会	帯広国際センタ オリエンテーショ ン	小林英嗣教授、関係講師	JICA
			12:00~12:30		閉講式	帯広国際セン ターセミナー4	小林英嗣教授、関係講師	JICA
			12:30~13:30		閉講パーティー	帯広国際セン ター会議室	小林英嗣教授、関係講師	JICA
	12月15日	土			帰国			

年度別受入実績表

1. 応募／受入 人数

	平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度	累計
応募数	17名	12名	16名	21名	15名	81名
受入数	12名	12名	12名	14名	14名	64名

2. 研修員の出身国

○男性●女性

国名	平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度	累計
ボリビア	○●	○●	○●	2○、●	2○、2●	13名
コロンビア	3○、2●	4○、3●	3○、2●	5○、●	4○、2●	29名
エクアドル	○●	○	●	2○	3○	9名
ペルー	●		○●	○●	○	6名
ベネズエラ	2●	○●	○●	○		7名
合計	5カ国 12名	4カ国 12名	5カ国 12名	5カ国 14名	4カ国 14名	5カ国 64名